

ウーマン スマイル カンパニー  
senshukai

株式会社 千趣会 (東証1部 : 8165)

# 2015年度 第2四半期決算説明会

2015年7月30日

innovate  
for Smiles 2018

1. 2015年度第2四半期連結業績について
2. セグメント別概況について
3. 2015年度第2四半期までの計画対比
4. 2015年度連結業績予想について
5. その他

# 1. 2015年度第2四半期連結業績について

  
for Smiles 2018

# 2015年度第2四半期連結決算損益（対前年同期比）

（単位：百万円）

	14年第2Q実績		15年第2Q実績		対前年	
		売上比		売上比	増減額	売上比 差異
売上高	74,048		68,161		△5,887	△7.9%
売上原価	39,082	52.8%	36,451	53.5%	△2,631	0.7%
売上総利益	34,966	47.2%	31,710	46.5%	△3,256	△0.7%
販管費	33,132	44.7%	32,864	48.2%	△268	3.5%
営業利益	1,833	2.5%	△1,154	△1.7%	△2,987	△4.2%
経常利益	1,946	2.6%	△1,063	△1.6%	△3,009	△4.2%
四半期純利益	914	1.2%	△1,219	△1.8%	△2,133	△3.0%

- ◆ 売上高：通信販売事業における消費税増税後の反動減の長期化  
販促施策の変更（クーポン⇒ポイント）と、商品価格帯の見直し（低価格商品の削減）による売上減
- ◆ 営業利益：円安による商品原価の増加とセール販売比率の上昇、及び処分販売の増加による  
売上原価率の上昇に伴う利益減

# 2015年度第2四半期連結貸借対照表 (対前年末比)

(単位：百万円)

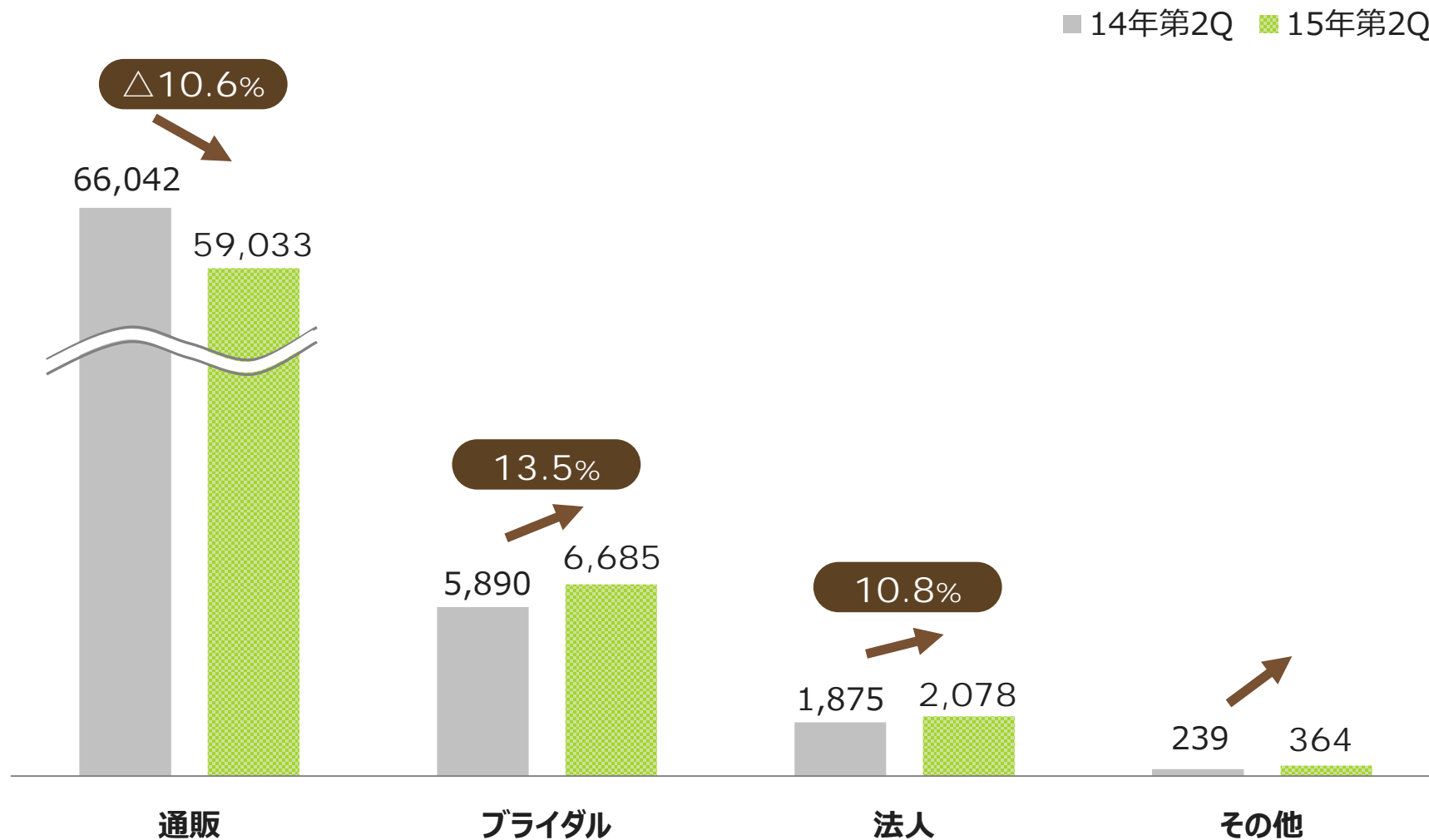
	14年末	15年第2Q	増減額	コメント
<b>資産の部</b>				
● 流動資産	53,554	58,273	4,718	■ 現金及び預金：+116億円 ■ 受取手形及び売掛金：△24億円
● 固定資産	47,231	49,782	2,551	■ 有形固定資産：+16億円 ■ 投資その他の資産：+9億円
資産合計	100,785	108,055	7,269	
<b>負債の部</b>				
● 流動負債	33,470	30,449	△3,021	■ 未払法人税等：△7億円
● 固定負債	14,153	18,027	3,874	■ 長期借入金：+43億円
負債合計	47,624	48,477	853	
<b>純資産の部</b>				
● 株主資本	55,707	61,576	5,868	■ 資本金：+19億円 ■ 資本剰余金：+28億円 ■ 利益剰余金：△16億円 ■ 自己株式：27億円
● その他の包括利益累計額	△2,546	△2,033	513	
● 少数株主持分	—	35	35	
純資産合計	53,160	59,577	6,416	
負債・純資産合計	100,785	108,055	7,269	

(単位：百万円)

	14年第2Q	15年第2Q	増減額	15年2Qの主な内容
営業活動による キャッシュ・フロー	3,514	3,141	△373	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ その他の流動資産の減少：+24億円</li> <li>■ たな卸資産の減少：+17億円</li> <li>■ その他の流動負債の減少：△23億円</li> </ul>
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,290	△3,653	△2,363	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 有形固定資産の取得による支出 ：△19億円</li> <li>■ 定期預金の預入による支出 ：△10億円</li> <li>■ 子会社株式の取得による支出 ：△6億円</li> </ul>
財務活動による キャッシュ・フロー	2,122	10,844	8,722	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 長期借入れによる収入：+56億円</li> <li>■ 株式の発行による収入：+38億円</li> <li>■ 自己株式の処分による収入 ：+36億円</li> <li>■ 長期借入金の返済による支出 ：△13億円</li> </ul>
現金及び 現金同等物の期末残高	11,118	18,309	7,190	

# 連結セグメント別売上高（対前年同期比）

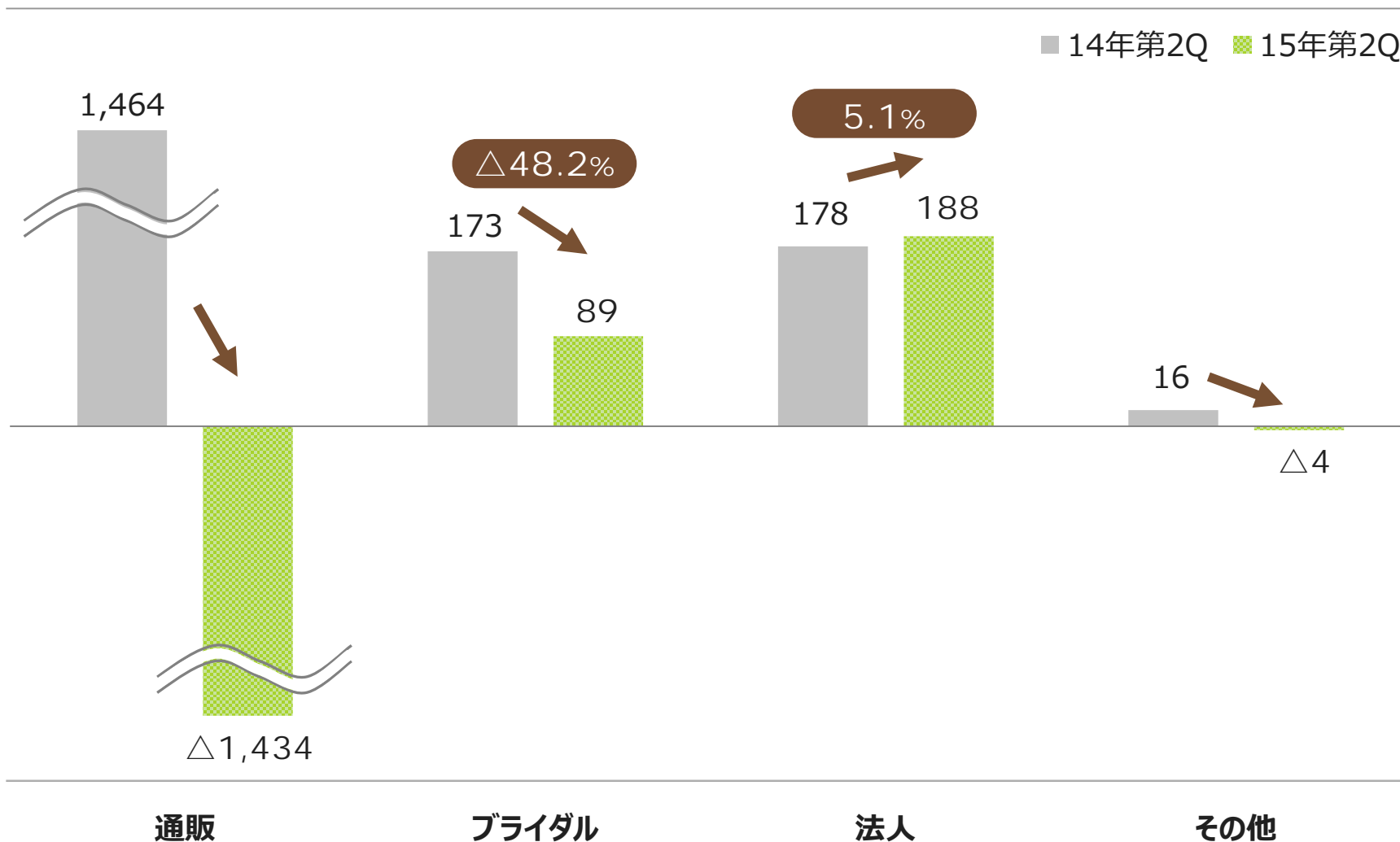
（単位：百万円）



※その他事業とは：保険・クレジットを主とするサービス事業及び保育事業

# 連結セグメント別営業利益（対前年同期比）

（単位：百万円）



※その他事業とは：保険・クレジットを主とするサービス事業及び保育事業



## 2. セグメント別概況について

  
for Smiles 2018

# 通販事業の概況（対前年同期比）

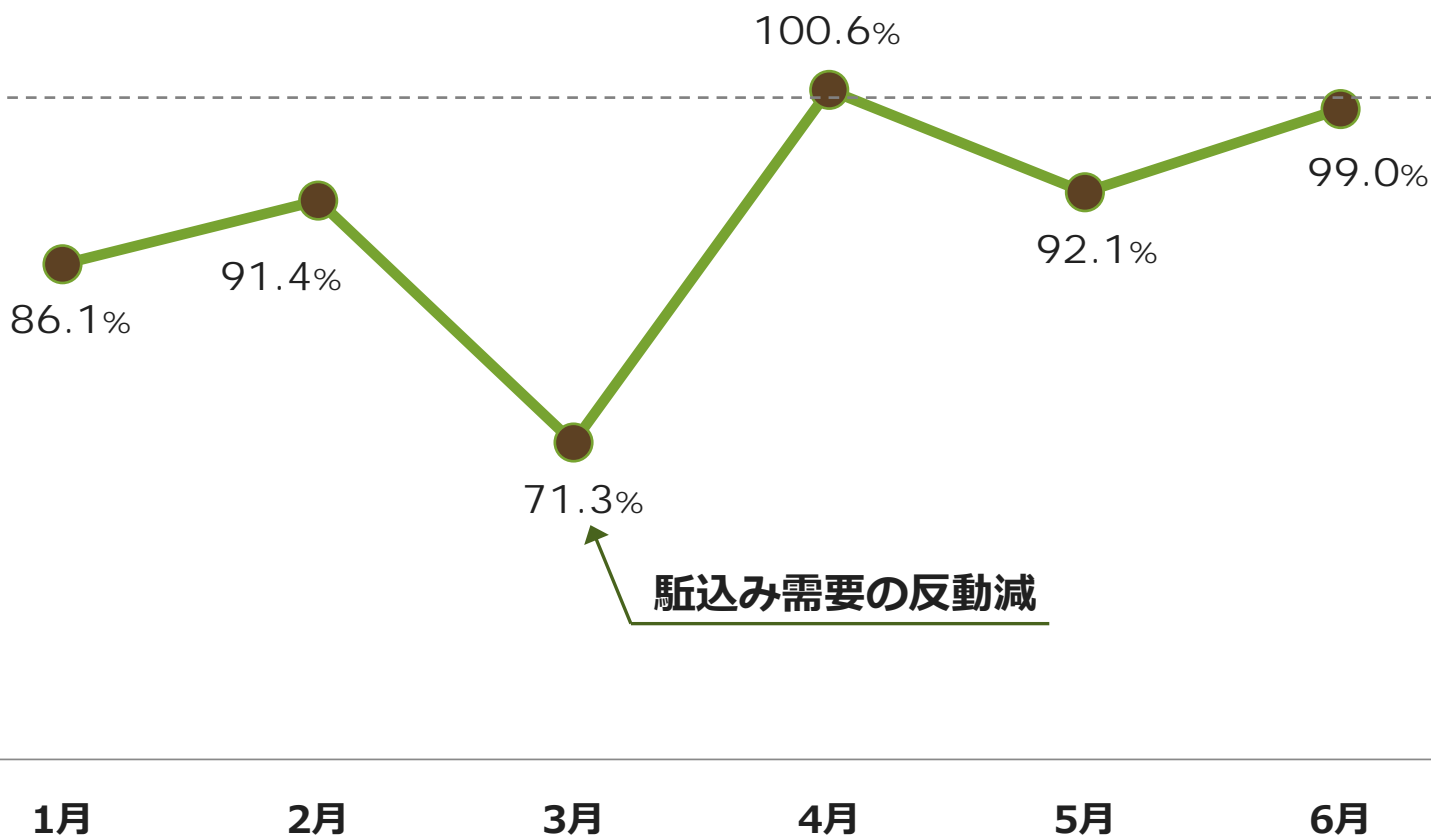
	14年第2Q	15年第2Q	増減	要因
売上高（百万円）	66,042	59,033	△7,009	
営業利益（百万円）	1,464	△1,434	△2,898	
半期購入者数（万人）	275.9	258.4	△17.5	■ 販促施策の変更と 今期CMのとりやめ
半期新規会員数（万人）	44.0	40.2	△3.8	
1件当たり受注単価（円）	10,726	10,325	△401	■ 商品価格の見直しに よる購入点数の減
1人当たり半期注文回数（回）	2.12	2.08	△0.04	
カタログ部数（万部）	3,531	3,778	247	■ 新規媒体増

※半期購入者数以下の数値は通販事業の中の単体（頒布会事業を除いた）数値

## 通販事業月次売上高

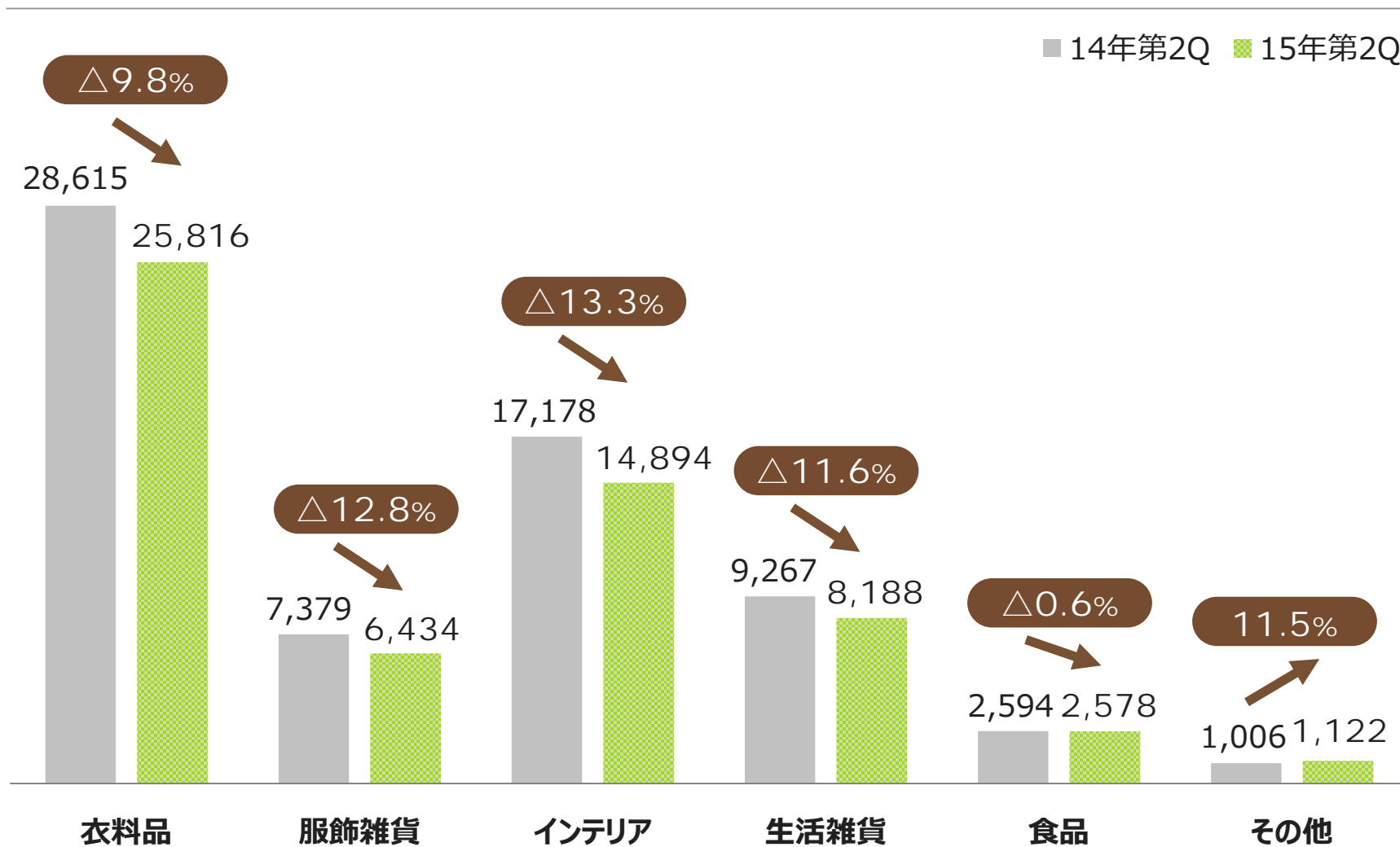
1~6月 累計89.4%

対前年比  
100%

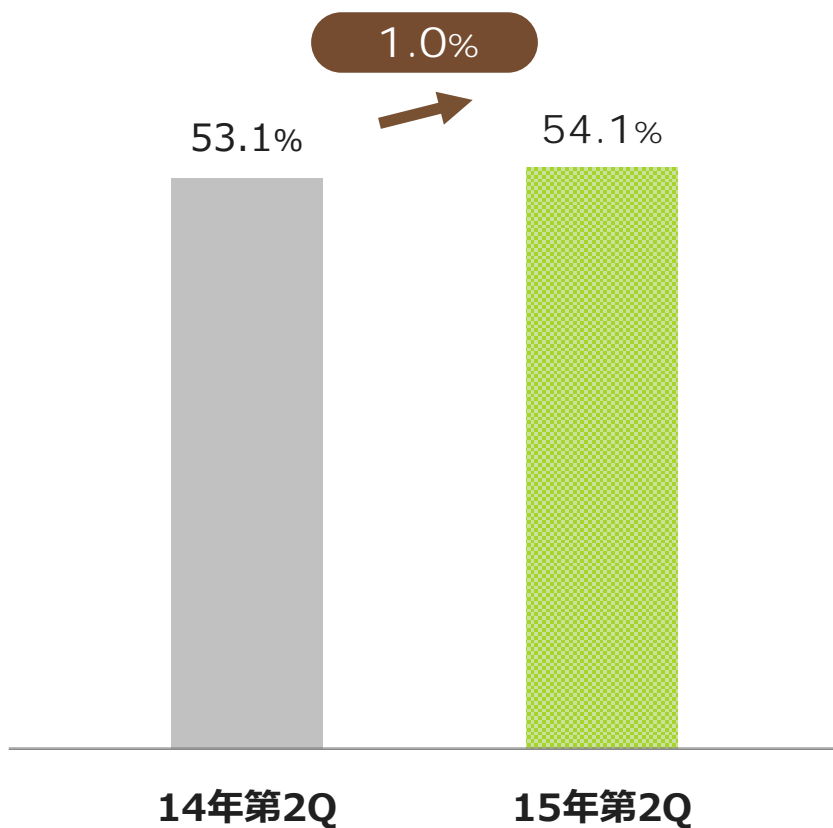


# 通販事業のジャンル別売上高（対前年同期比）

（単位：百万円）



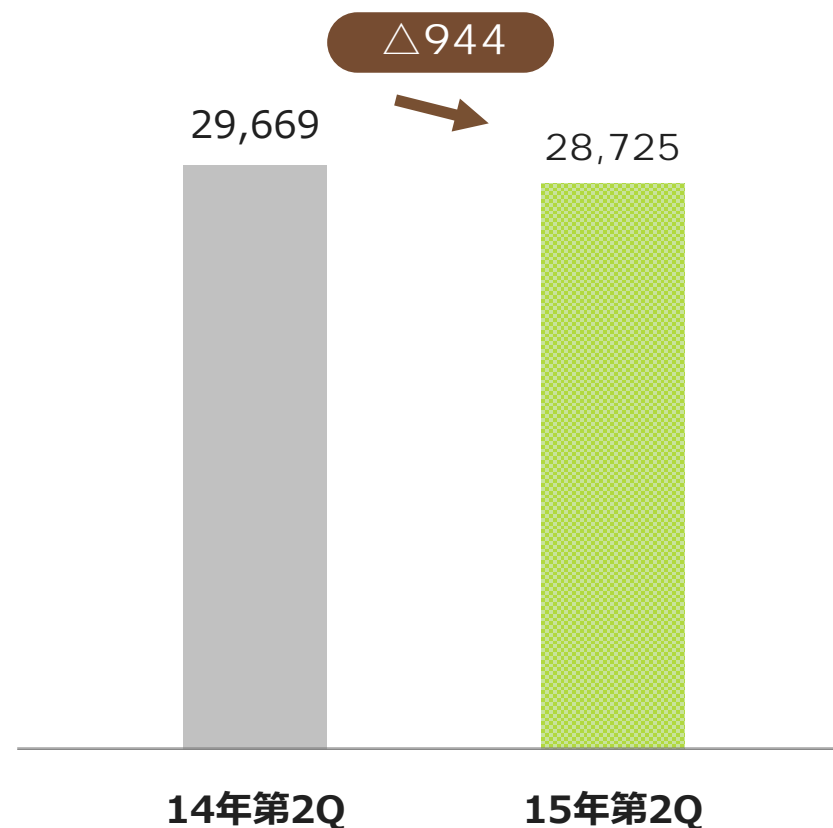
## 売上原価率



- ◆ セール販売比率の上昇
- ◆ 円安による原価率増  
(商社メーカー経由及び直接取引)

## 販管費

(単位：百万円)

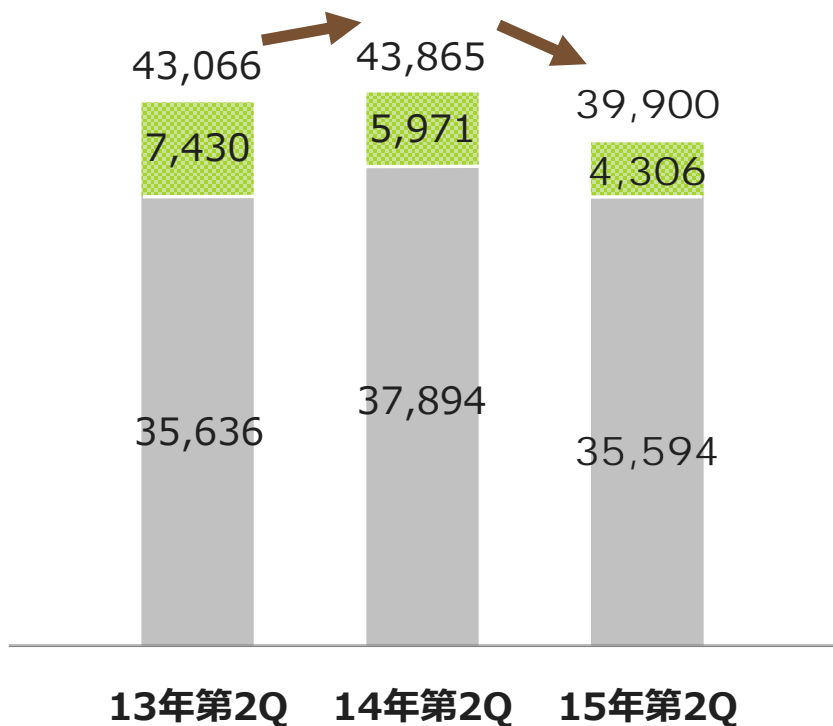


- ◆ 物流費用：売上高減少に伴う荷造費用減
- ◆ 販管費：カタログ・印刷ページ数減  
カタログ制作費減

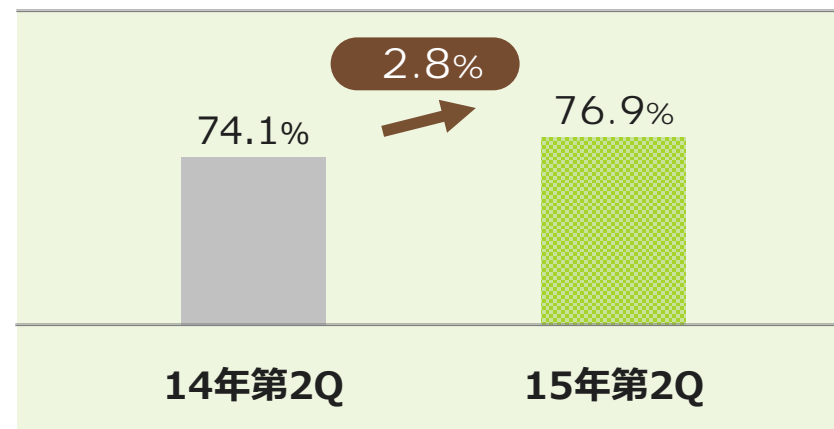
## インターネット売上推移 (単位：百万円)

(モバイルを含む)

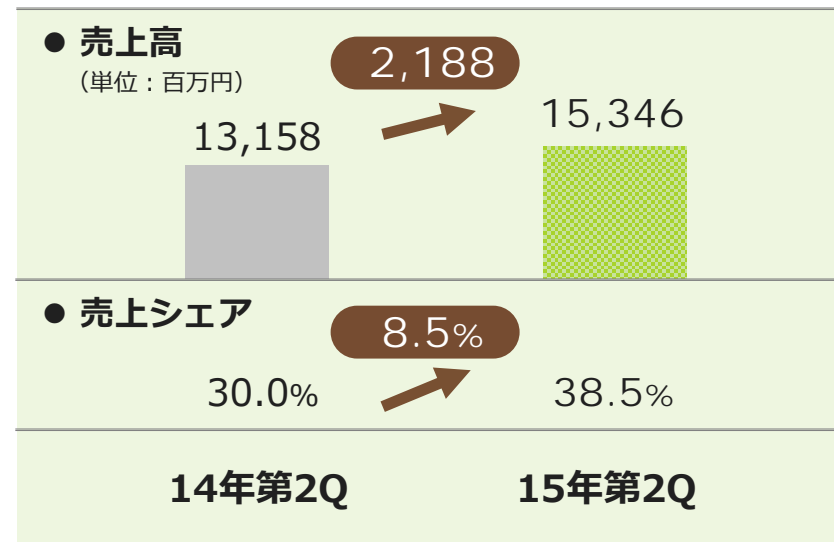
- カタログ経由  
：カタログを見てからカタログ申込品番の入力による売上
- 純ネット売上  
：インターネットで商品をカートに入れることによる売上



## ネット受注件数比率



## スマートフォン売上高・売上シェア



# ブライダル事業の概況（対前年同期比）

	14年第2Q	15年第2Q	増減	要因
売上高（百万円）	5,890	6,685	795	
● 新店 （プラネットワーク含む）	-	929	929	■ 新潟店及び プラネットワーク2店舗
● 既存店	5,890	5,756	△134	
営業利益（百万円）	173	89	△84	
ゲストハウス数（店舗）	18	21	3	■ 新潟店及び プラネットワーク2店舗
施行件数（組）	1,518	1,722	204	
平均組単価（万円）	379	377	△2	■ プラネットワークの レストランウエディング は組単価が低め

# 法人事業の概況（対前年同期比）

（単位：百万円）

	14年第2Q	15年第2Q	増減額	要因
<b>売上高</b>	1,875	2,078	202	
● <b>業務受託</b>	1,324	1,434	110	■ 既存取引先受託増
● <b>サンプリング</b>	430	505	75	■ 新規取引先増
● <b>ノベルティ</b>	85	115	30	■ 新規取引先増
● <b>その他</b>	34	22	△12	
<b>営業利益</b>	178	188	10	



### 3. 2015年度第2四半期までの計画対比

  
for Smiles 2018

# 第2四半期連結決算損益計画対比 (対当初計画比)

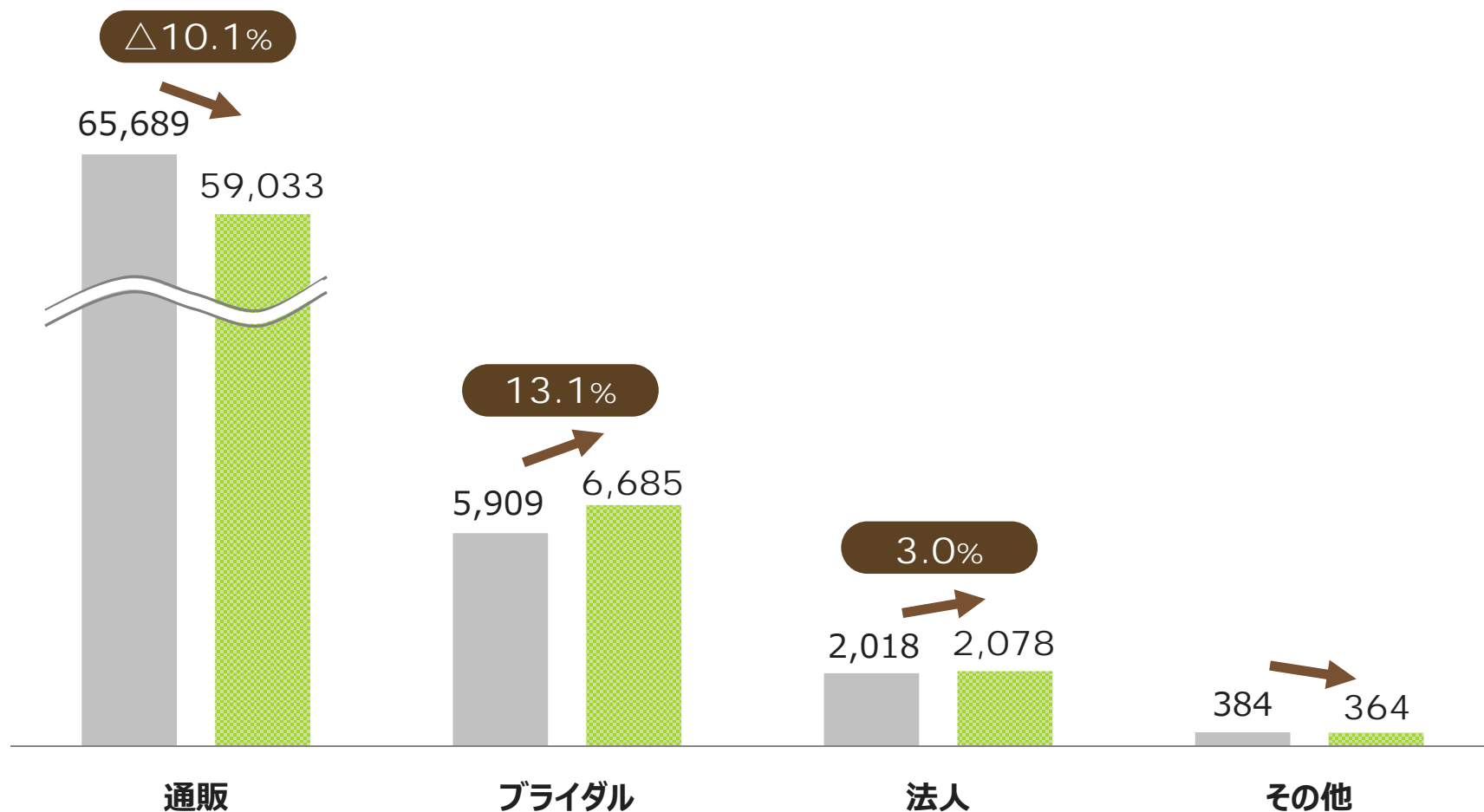
(単位：百万円)

	15年第2Q当初		15年第2Q実績		対当初	
		売上比		売上比	増減額	売上比 差異
売上高	74,000		68,161		△5,839	△7.9%
売上原価	39,185	53.0%	36,451	53.5%	△2,734	0.5%
売上総利益	34,814	47.0%	31,710	46.5%	△3,104	△0.5%
販管費	33,764	45.6%	32,864	48.2%	△900	2.6%
営業利益	1,050	1.4%	△1,154	△1.7%	△2,204	△3.1%
経常利益	1,250	1.7%	△1,063	△1.6%	△2,313	△3.3%
四半期純利益	700	0.9%	△1,219	△1.8%	△1,919	△2.7%

# 連結セグメント別売上高（対当初計画比）

（単位：百万円）

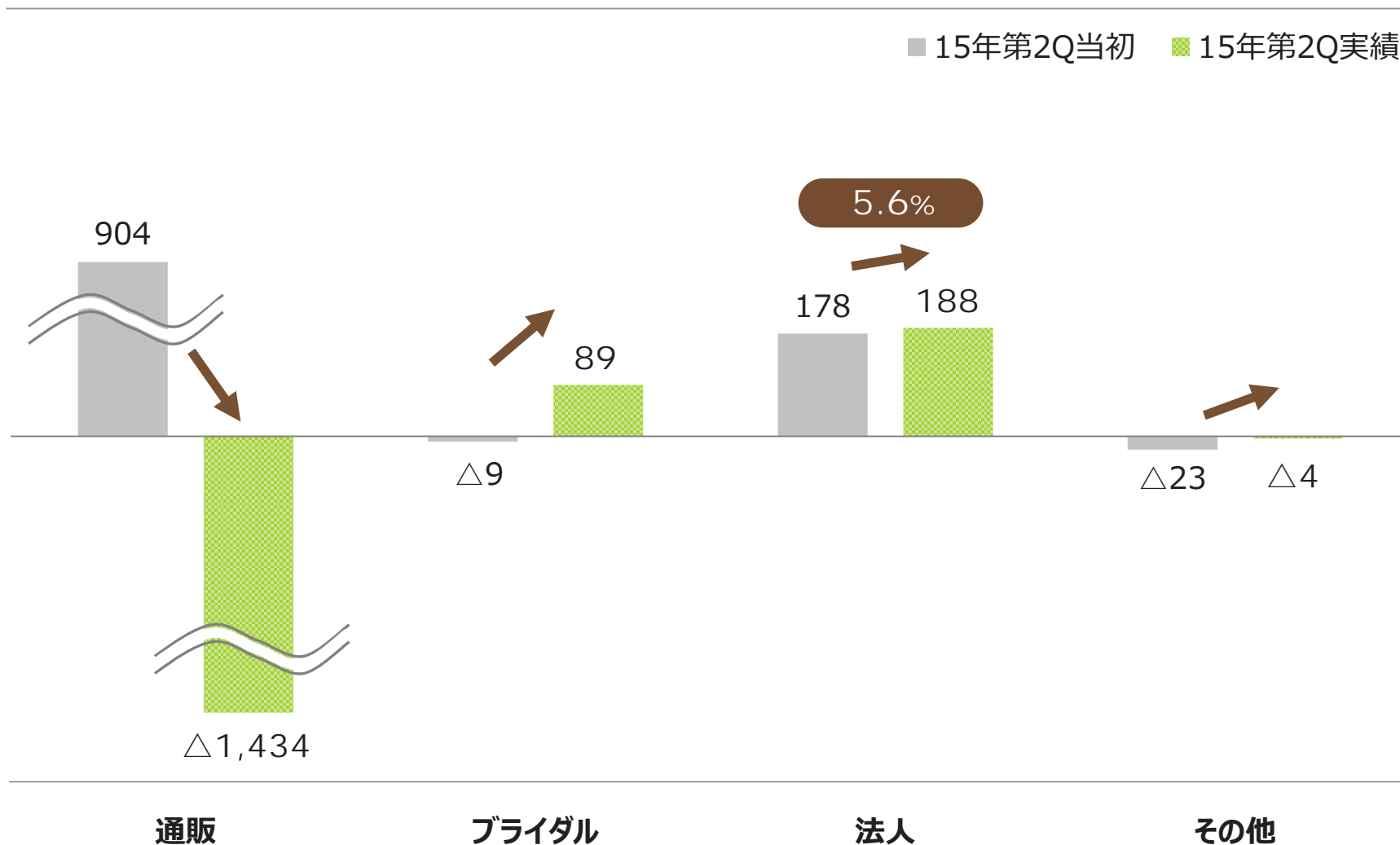
■ 15年第2Q当初 ■ 15年第2Q実績



※その他事業とは：保険・クレジットを主とするサービス事業及び保育事業

# 連結セグメント別営業利益（対当初計画比）

（単位：百万円）



※その他事業とは：保険・クレジットを主とするサービス事業及び保育事業

## 4. 2015年度連結業績予想について

  
for Smiles 2018

# 2015年度通期連結業績予想（対前年度比）

（単位：百万円）

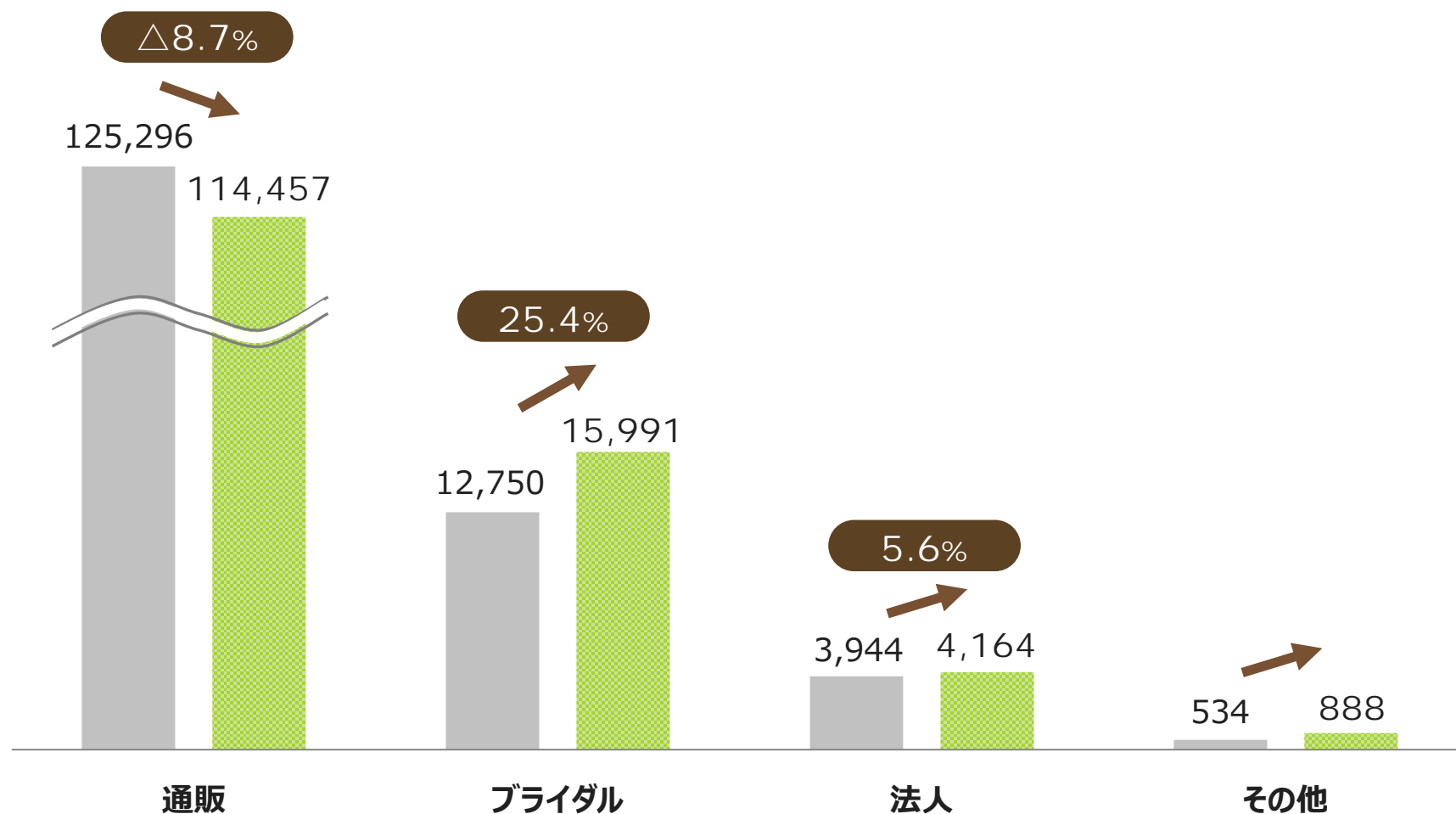
	14年実績		15年予想		対前年	
		売上比		売上比	増減額	売上比 差異
売上高	142,526		135,500		△7,026	△4.9%
売上原価	75,038	52.6%	72,509	53.5%	△2,529	0.9%
売上総利益	67,488	47.4%	62,990	46.5%	△4,498	△0.9%
販管費	64,399	45.2%	66,390	49.0%	1,991	3.8%
営業利益	3,088	2.2%	△3,400	△2.5%	△6,488	△4.7%
経常利益	3,549	2.5%	△3,150	△2.3%	△6,699	△4.8%
当期純利益	1,798	1.3%	△4,400	△3.2%	△6,198	△4.5%

- ◆ 売上高 : 通信販売事業における消費税増税後の反動減の長期化  
下期より販促施策の増加による売上の回復を目指す
- ◆ 営業利益 : 売上原価率の上昇及び販売管理費（販促費・美濃加茂費用等）の増加による利益減
- ◆ 当期純利益 : 繰延税金資産の回収可能性の不確実性を見込むことによる利益減

# 2015年度連結セグメント別売上高予想（対前年度比）

（単位：百万円）

■ 14年実績 ■ 15年予想

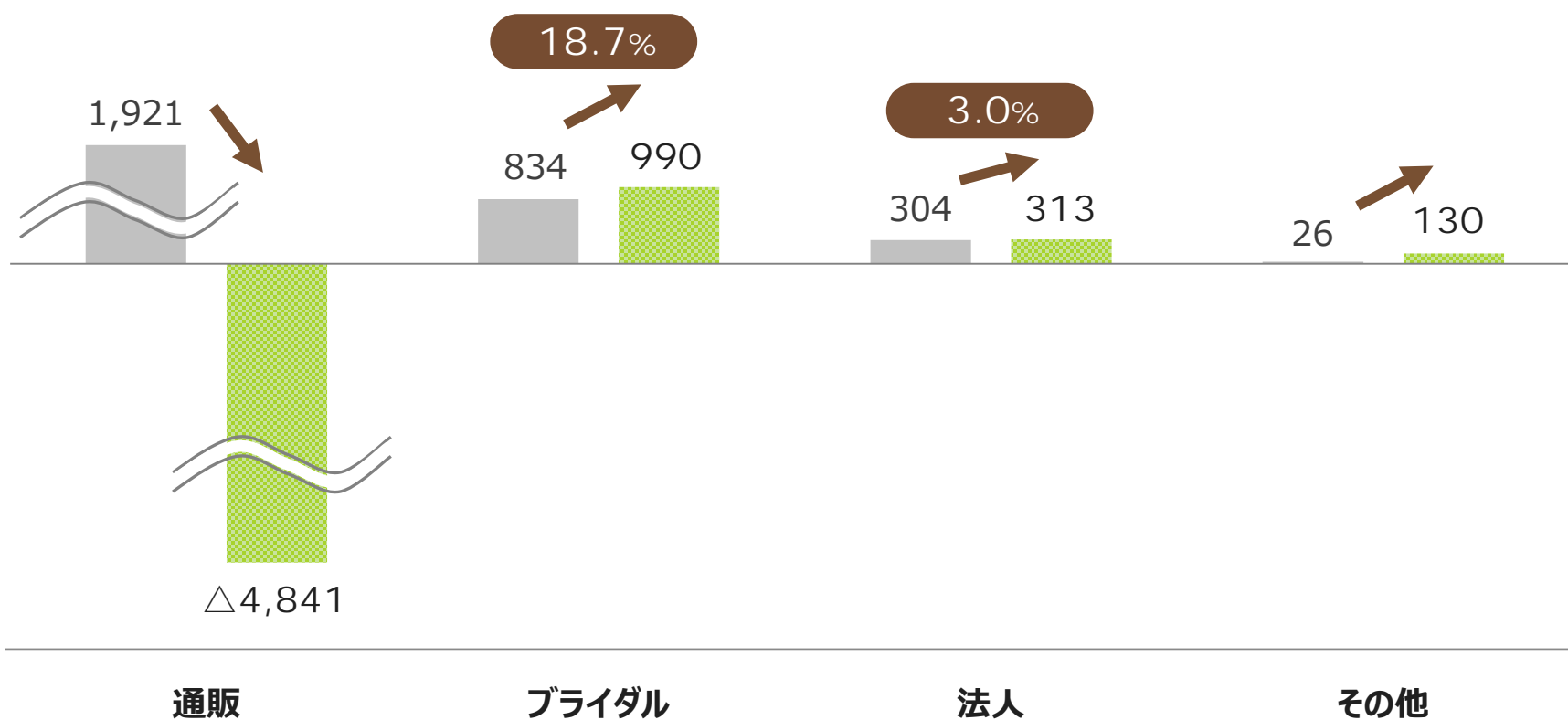


※その他事業とは：保険・クレジットを主とするサービス事業及び保育事業

# 2015年度連結セグメント別営業利益予想 (対前年度比)

(単位：百万円)

■ 14年実績 ■ 15年予想



※その他事業とは：保険・クレジットを主とするサービス事業及び保育事業



# 5. その他

innovate  
for Smiles 2018

## JFRとの提携及び取組みについて

J.フロント リテイリング株式会社（JFR）と株式会社千趣会は、4月17日の資本業務提携契約の締結以来、両社による業務提携推進委員会を立ち上げ、シナジー創出に向けて具体的な議論を重ねています。

特に取扱いブランド・商品の相互販売は、早期に具現化できる取組みであり、売上高の増加と収益性の改善が期待できます。

そのため今回は、期間限定のトライアルとして、ご来店やアクセスの増加が期待できるクリアランスセールや夏休みに合わせて、大丸・松坂屋の各店舗と千趣会の通信販売チャネルの双方で互いの商品を販売。認知促進を図ると共に、お客様の反応を検証し、本格的な相互販売に歩みを進めます。

また、PBの共同開発やJFRグループの無店舗事業の業務受託の検討を中長期的に進めています。



▶大丸・松坂屋店舗での販売風景



▶千趣会通販チャネルでの販売

## プラネットワーク社買収



3月、大阪ガス株式会社の100%子会社の株式会社オージーキャピタルより、同社の子会社である株式会社プラネットワーク（以下プラネットワーク）の全株式を取得しました。

プラネットワークはゲストハウスウェディング事業等を手掛け、大阪府吹田市の『Mia Via(ミア ヴィア)』と同万博記念公園内の『迎賓館』の二つの施設を運営しています。

今回、プラネットワークを子会社化することにより、当社ブライダル事業の全国展開において手薄となっていた関西地域におけるプレゼンスを高め、今後の成長戦略における重要な拠点になると位置づけています。



## エゴホの森

お客様からの募金をもとに社会貢献活動を実施しています。

### 震災復興支援

#### 「いしのまき 子そだてフェスタ」に参加

宮城県石巻市を中心に活動する子育て支援団体、「NPO法人ベビースマイル石巻」様とのお付き合いも3年目を迎えました。地元行政や各種団体とも連携し、精力的に活動するこの団体への寄付も含めた支援を強化しています。

6月には石巻で開催の子育てイベントへ協力し、「プロカメラマンによる家族写真館」を出展。137組、369名の笑顔を撮影しました。

### 環境活動

#### 「グリーンパワー教室」を全国10校で実施

ダイヤモンド社と共同で昨年より再生可能エネルギーに関する出張授業を開始しました。今年3月までの第一期・第二期で全国の小学校計10校で実施。お母さんと子どもたちにエネルギーについて考えていただく機会を提供しました。子供たちにも好評の出張授業は引き続いて実施の予定です。



▶ 家族写真撮影風景



▶ 出張授業風景

## 配当予想

当社グループは、経営基盤の強化を図ると共に、株主各位に対しましては、配当性向を考慮し安定的な配当の維持及び業績に応じた適正な利益還元を基本としています。

平成27年12月期の配当につきましては、前回発表予想（平成27年2月5日発表）では、第2四半期及び期末ともに8円としておりましたが、第2四半期連結累計期間の業績及び通期連結業績予想を修正する状況等を勘案し、誠に遺憾ではございますが、第2四半期末に関する配当（中間配当）につきましては4円とさせていただきます。また、期末配当につきましても4円とさせていただきます予定です。

## 決算発表日程

- |              |              |
|--------------|--------------|
| ● 第3四半期決算発表  | 10月30日（金）    |
| ● 2015年度決算発表 | 2016年2月4日（木） |
| ● 決算説明会（東京）  | 2016年2月5日（金） |

当決算発表会資料記載内容のうち、将来予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。